

東京学芸大学連続講演会 第8回

「エコミュージアム日本村構想」 講師：木俣 美樹男（東京学芸大学）

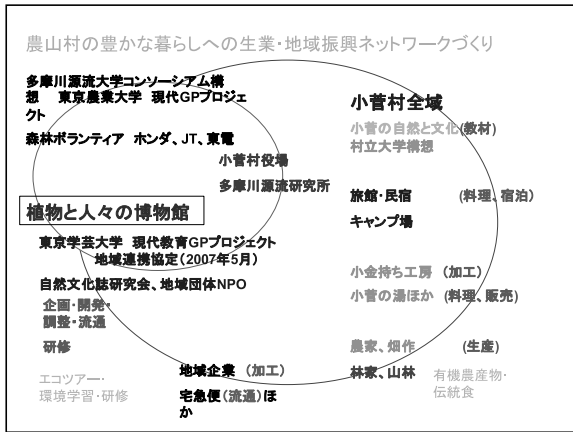


植物と人々の博物館

◆エコミュージアム日本村は、日本の山村に伝承されてきた伝統的知識体系を学習し、環境保全・創造する活動を通じて、持続可能な地域社会を形成する事業です。

◆小菅村を訪れると、美しい自然、採りたての山川の幸、雑穀や野菜の在来食材、郷土の伝統料理、心地よい温泉をゆったりと楽しむことができます。そのうえ、植物と人々をめぐる良い本にめぐり会えます。絵本、農林業の実用書、料理書、植物誌、植物学の古典書などを収集し、のどかな読書ができるようにします。

◆植物と人々をめぐる伝統的の知恵を受け継ぎ、秩父多摩甲斐国立公園内での山村振興モデルを提案します。



- コアミュージアムとして「植物と人々の博物館」を山梨県北都留郡小菅村に創ります。
(小菅村中央公民館内に収蔵庫と展示)
- 学校で伝達される科学的知識体系に、山村で体験する伝統的知識体系を加えて、自ら学び、調和の取れた世界観を研鑽します。

計画立案の事業創生モデル

- ヨセミテ国立公園、ヨセミテ研究所(USA)
- 王立キュー植物園(UK)
- ナショナル・トラスト、ブリーンの森、プログダール果樹園(UK)
- 環境学校(デンマーク)
- 民俗村(韓国)

